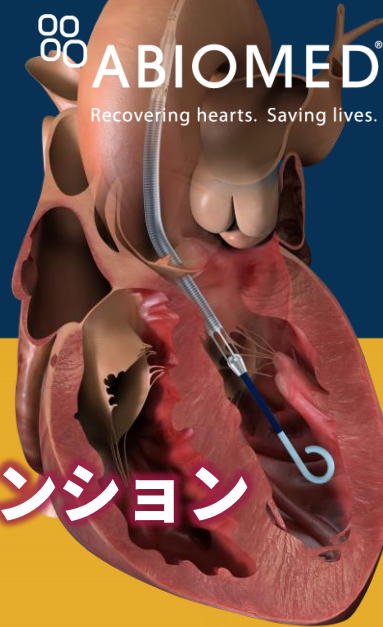


# Interventional Heart Failure Therapy Case Club



## What's Your Strategy?

## 冠動脈疾患合併重症大動脈弁狭窄症に対する複合的インターベンション

### Case Presenter



近藤 誠太 先生

昭和大学  
循環器内科

### Guest Commentator



戸田 宏一 先生

獨協医科大学 埼玉医療センター  
心臓血管外科

日時

2023年7月5日(水)  
18:30 - 19:45

会場

Zoom ウェビナー  
(事前登録制)



### Director



絹川 弘一郎 先生

富山大学



上妻 謙 先生

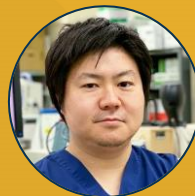
帝京大学



佐藤 直樹 先生

かわぐち心臓呼吸器病院

### Moderator



朔 啓太 先生

国立循環器病研究センター研究所



中田 淳 先生

日本医科大学

※ 本ウェビナーは、医療従事者を対象とした事前登録制セミナーです。上記の二次元バーコードから事前参加登録・申し込みをお願いいたします

※ 視聴用URLなどの情報は、お申し込み確認後に、別途メールにてご連絡いたします

本ウェビナーに関するお問い合わせ

日本アビオメッド株式会社 マーケティング japan\_marketing@abiomed.com

販売名: IMPELLA 補助循環用ポンプカテーテル  
承認番号: 22800BZ100032000  
販売名: IMPELLA 5.5 補助循環用ポンプカテーテル  
承認番号: 30300BZ100040000  
一般名称: 循環補助用心内留置型ポンプカテーテル  
医療機器クラス分類: IV 高度管理医療機器  
特定保険医療材料機能区分: 193 補助循環用ポンプカテーテル

販売名: IMPELLA 制御装置  
承認番号: 22800BZ100031000  
一般名称: 循環補助用心内留置型ポンプカテーテル用制御装置  
医療機器クラス分類: III 高度管理医療機器/特定保守管理医療機器  
選任製造販売業者: 日本アビオメッド株式会社  
外国特許承認取得者: ABIOMED, Inc.

### Interventional Heart Failure Therapy Case Clubのご案内

Impellaは、心原性ショック等の薬物療法抵抗性の急性心不全を適応として、現在、既に8,000例を越える国内症例経験が蓄積されています。Impellaは救命と心機能回復を目指して、様々な急性病態に使用されていますが、他の治療やデバイスと組み合わせることによって、より強力な血行動態の是正や救命が可能となる症例も存在します<sup>1,2</sup>。重症化の一途をたどる心不全医療において、既存の内科的・外科的治療とImpellaをはじめとした最新デバイスを組み合わせるInterventional Heart Failure (IHF) Therapyは患者の予後改善とQOL向上に必要な不可欠となると考えられます。Impellaを含むIHF Therapyの達成には、心不全治療、冠動脈・ストラクチャーインターベンション治療、循環器集中治療、外科的治療、機械的補助循環治療、循環生理学など、様々な領域の専門性が求められ、その知識や経験の蓄積は容易ではありません<sup>3,4</sup>。本ウェビナー(定期開催予定)では、各専門領域のエキスパートをお迎えしてIHF Therapyの実践例をディスカッションすることで、Heart Recoveryに取り組みられている医療従事者の皆様にとってよりよいIHF Therapy提供の一助になればと考えております。

1. Sobajima, Kinugawa, European Heart Journal - Case Reports. 2020. doi:10.1093/ehjcr/ytaa418  
2. Iida, Artif Organs. 2019 Aug;43(8):806-807. doi: 10.1111/aor.13434.  
3. Panhwar, J Am Coll Cardiol. 2020 Jun 16;75(23):2984-2988. doi: 10.1016/j.jacc.2020.05.010.  
4. Kapur, J Am Coll Cardiol. 2020 Jun 16;75(23):2987-2988. doi: 10.1016/j.jacc.2020.05.011.